

普及センターだより

土 浦



令和4年7月21日 No.48
茨城県県南農林事務所 経営・普及部門
(土浦地域農業改良普及センター)
土浦合同庁舎第2分庁舎3F
土浦市真鍋5-17-26
土浦地域農業改良普及事業推進協議会
電話 029-822-7242
FAX 029-822-7370
URL https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nannorin/keiei/tsuchiura/00_index/index2018.html



摘果講習会の様子



県育成品種なし「恵水」

なし摘果講習会を開催

令和四年五月一三日、園部梨選果場において、JAやさと梨部会が摘果講習会を行いました。また、同年五月一七日には、JA新ひたち野石岡梨部会がなしほ場において、摘果講習会を行いました。

摘果講習会では、なしの重要病害である黒星病、昨年発生が多かった炭疽病について、防除方法や薬剤の選択等について検討しました。

また、適期防除が重要となるシンクイムシ類や、本年は発生が多いとされているカメムシ類の防除のポイントについて再確認しました。

今年、「幸水」の変形果が目立つものの着果数は平年並みであり、高品質果実の安定出荷が期待できます。

両部会では、二つのJAを超えた連携で、県オリジナル品種「恵水」の積極的な生産を行っています。「恵水」は、平成三〇年から選果場での選果・出荷を行っており、出荷量は年々増加しています。本年は「幻の恵水」のPR活動にも取り組めます。

今年も品質の高い「恵水」を安定して出荷できるよう、普及センターでは引き続き支援していきます。

※「幻の恵水」：果重1kg以上、糖度一四度以上で
外観の良い「恵水」



不耕起播種機を使用した乾田直播作業

石岡市(旧八郷地区)で、水稲を約40ha作付けしている経営体では、限られた労働力のため、従来から育苗・代掻き・田植え作業の省力化が課題でした。このため、平成二九年から、普及センター指導のもと、乾田直播栽培を導入しました。令和三年度は、飼料用米専用品種「北陸一九三号」の乾田直播に四・七haで取り組み、七四七kg/一〇aの多収を実現しました。本経営体は、「育苗作業を省略できるとともに、移植栽培との作業分散が図れる」と乾田直播栽培を高く評価しています。

乾田直播栽培は、レーザールーラー、播種機、ハイクリブーム等の大型機械が必要となりま

営農トピックス

飼料用米の乾田直播栽培の推進について



写真 塊根の腐敗

出展：農研機構生研支援センター イノベーション創出強化研究推進事業 (01020C) 令和2年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」より https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138589.html

九州ではサツマイモ基腐病が発生し、産地では壊滅的な被害を受けています。県内では令和三年に初めて発生が確認されました。本病は防除が困難で被害が拡大する恐れがあるため、対策を正しく行い、県内への侵入を防ぐ必要があります。

病気の原因は糸状菌(カビ)によるもので、苗床や本圃で発生します。本病に感染すると、地際の黒く褐色の変色、茎葉の変色、しおれ症状等が観察できます。貯蔵中の塊根にも発生することがあり、つるに近い側からの腐敗症状が見られます(写真)。

営農トピックス

サツマイモ基腐病の侵入防止にご協力ください

す。また、適時・的確な作業が必要な「プロの技」も必要です。

「恵水」は、満開後一〇〇日頃から果実肥大と収穫時果実重の相関が高まることから、品質の良い大玉果実を揃えるために修正摘果を行います。今年四月二〇日頃が満開日であり、満開後一〇〇日は七月二九日頃となります。修正摘果の基準は表のとおりです。

開花時期が極端に早い年など、果実肥大状況が平年と異なる年には基準に合わないことが多いことから、ほ場を観察し、生育状況をよく確認したうえで実施しましょう。

四L(四〇〇g)以上の「恵水」生産のために、満開後一〇〇日に七〇mm以下の果実を摘果する修正(最終)摘果を行います。

「恵水」は、満開後一〇〇日頃から果実肥大と収穫時果実重の相関が高まることから、品質の良い大玉果実を揃えるために修正摘果を行います。今年四月二〇日頃が満開日であり、満開後一〇〇日は七月二九日頃となります。修正摘果の基準は表のとおりです。

営農トピックス

四L以上の「恵水」の生産を目指して

防除対策の三つのポイントは、「持ち込まない」「増やさない」「残さない」ことです。本病の発生地域から種イモや苗を持ち込まないこと、原則ウイルスフリーの苗を使用すること、種イモから採苗する場合は無病健全なものを使用すること、苗の消毒を徹底することが大切です。栽培中は本病の症状がないかよく観察し、疑わしい症状が見られたら普及センターまでご連絡ください。

「恵水」修正摘果 基準 (果実の平均横径 mm)

満開後 日数	3L (14玉)	4L (12玉)	5L (10玉)	6L (9玉)	7L (8玉)	8L (7玉)	9L (6玉)
	(350-400g)	(400-500g)	(500-550g)	(550-600g)	(600-650g)	(650-780g)	(780g 以上)
90	56	58	64	66	69	71	78
100	68	70	75	77	79	81	87
110	77	79	83	86	88	90	96
120	83	85	90	92	95	97	103
130	87	89	95	97	100	103	110
収穫時	90	93	100	103	106	109	118

1) 表の見方：満開後100日に果実の平均横径が70mm以下の果実は収穫時に400g未満になる確率が高い

2) 果実の階級および基準重量は、茨城県青果物標準出荷規格「なし(新高・恵水等大玉系)」による

営農トピックス



燃油価格の高騰に
備えませんか？

施設園芸の省エネルギー対策としては、次の方法があります。

- ①省エネのための機器利用技術
(燃油暖房機のメンテナンスや温度センサーの点検等)
- ②温室の保温性向上技術
(気密性の向上や外張多重化や内張多層化、保温性の高い被覆資材の利用等)
- ③省エネのための温度管理技術
(省エネ型の品種や作型への転換や循環扇を利用した温度ムラ改善や変温管理や作物への局所加温等)

まずは、現在の暖房方法に無駄なエネルギー使用がないかを確認したうえで、省エネのための設備や技術の導入へと取り組むことが重要です。「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル」を検索してください。



まちから
むらから

土浦市
第四期土浦ブランドが認定されました！

日本一の生産量を誇るれんこんを始め、土浦市産の名産品や加工品などを認定する「土浦ブランド」は、多くの方に好評をいただいています。

今回、新たに七品目が認定され、土浦市の魅力発信や地域活



性化への期待が改めて高まっています。

総数が三八品目となった「土浦ブランド」からお気に入りを見つけてください。

認定品の詳細は、土浦市HPや添付のQRコードからご覧ください。



かすみがうら市

「湖山の宝」募集中

市の推奨品「湖山の宝」とは、ブランド化推進会議において審査の上、推奨品として認証された農林水産物やその加工品を示すブランドネーミングです。

推奨品それぞれが、地域食材をふんだんに使用したこだわりの品々で、現在三九品目あります。

現在、市では、新たな農林水



産物や加工品を募集しています。

認定されると、上記の推奨品ロゴマークを使用することができ、また、(三年有効・更新あり)。丹精込めて作られた商品を市推奨品にエントリーしてみませんか。

応募に関する詳細については「湖山の宝」公式サイトをQRコードからご覧ください。



石岡市

「朝日里山ファーム」研修生募集

石岡市柴内の朝日里山ファームは、国の新規就農者研修制度に基づいた研修施設です。本施設は、農業で独立を目指す青年の研修農場で、体験型観光施設「朝日里山学校」周辺の耕作放棄地を再生し、有機農業コースの他果樹・施設園芸コースを併設しています。

研修生となる資格・条件は、市内に居住すること、年齢が四五歳まで、研修終了後は市内で就農すること等です。研修は二年間で毎年一組ずつ受け入れられています。詳しい相談は朝日里山ファーム(Tel:0299-511311)または石岡市新規就農支援センター(石岡市農政課 Tel:0299-431111)へお問い合わせください。



ゴマほ場研修会



地元大学生とのオンライン交流会



当普及センターでは、管内の女性農業者を対象に、経営者としてのスキルアップに向けた学習会及び交流会「アグリライフセミナー」を開催しています。昨年度は、先輩農業者の事例発表会や現地検討会（ゴマほ場）、経営研修会（キャッシュレス決済）を行いました。さらに、地域のリーダーとして食農活動等に積極的に関わっている土浦地域女性農業者士会では、つくば国際大学との交流を継続して行っています。これら女性農業者の活動に興味がありましたら、お気軽に普及センターまでご連絡ください。

種苗法の改正について

種苗法とは？

農産物など植物の開発者は、その品種を登録することで独占的販売権が認められ、開発した人の知的財産権が守られるという法律です。

令和2年12月に改正種苗法が成立し、令和4年4月1日に施行されました。

改正により変わったこと

生産者が登録品種の収穫物から種や苗を採って次期作の栽培に使用する「自家増殖」を行う際に、育成者権の保持者の許諾は不要でしたが、改正により必要になりました。


茨城県登録品種における生産者が行う自家増殖の取り扱いについては、以下のQRコードを参照ください。



◆ **ありがとうございます**
ございました

今年度、以下の皆さんが退任されました。長年にわたりご尽力いただき、ありがとうございました。

農業経営士	土浦市	大塚 雄一氏
女性農業者士	土浦市	羽成香代子氏
青年農業者士	土浦市	栗原 正明氏
	石岡市	神生 潤一氏



いばらき農業アカデミーのご案内

茨城県では農業の技術向上や経営発展に意欲のある方、農業を始めて間もない方、将来就農を目指す方など幅広い方を対象に、総合的な学びの場を提供する「いばらき農業アカデミー」を開設しています。



ホームページ



Facebook

問い合わせ先

いばらき農業アカデミー事務局
（農業総合センター内）
TEL 0299-45-8321
FAX 0299-45-8350